事例No.	3114
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	宮崎県都城市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	DX

事例内容・タイトル

LGWAN環境下で利用できる生成AI開発と好事例の横展開

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）④

本格導入 03

主な活用事例 文章生成・企画立案

LGWAN環境下で利用できる生成AI開発と好事例の横展開（都城市）

事例のポイント

- LGWAN環境で利用できる生成AIを求め事業者と共創し生成AI利用サービスを開発
- 生成AI利用に関する横展開を実施するとともに、優れたプロンプト例を登録し自治体間で利用を促進

- **生成AIの概要**：LGWAN環境で利用するために企業と共創し開発した「自治体AI zevo」を利用している。
- **導入に至った経緯**：市が日々行う業務は書類作成や地域イベントでの挨拶文作成など、生成AIとの親和性が高い業務が多いことも踏まえ活用を検討してきた。事業者と共創しLGWAN経由で接続可能な生成AI利用サービスを開発し全庁的に利用を開始した。
- **生成AIの活用内容**：文章の作成・校正・要約や政策案やキャッチフレーズなどのアイデア出し、Excel関数生成やマクロ作成など幅広い業務に活用している。

- **生成AI活用促進の取組**：
・事業者と協力することで一か月間の実証期間中「zevo」を無料で利用可能とした。これにより令和６年６月時点で300団体が実証を行うなど、幅広い自治体へ横展開される結果となった。
・AIに関する好事例を自治体間で共有するため、「zevo」にプロンプト登録機能を搭載し汎用的に利用可能な優れたプロンプト例を登録して引き出せるようにしている。

登録されたプロンプト例



出所）都城市提供資料

- **導入による業務改善効果**：
文章作成に生成AIを活用することで文書作成業務に要する時間を大幅に削減できている。実際の利用状況から推計したところ、全庁的に年間約1,800時間の削減効果が見込まれる結果となった。
- **導入における課題**：生成AIが急速に社会に浸透したため予算を確保することが課題であった。都城市では民間企業から提案を受付けDXを推進する「DXチャレンジプロジェクト」を実施しており、この制度を活用することで実証事業を実施し、効果を確認することで導入に至った。
- **今後の生成AI利用の展望**：
・マニュアルやQ&Aを読み込んだ都城市独自AIの実証や、BIツールと生成AIの連携に関する実証を進めており、単純な生成AI利用のみではなく活用分野を広げて取組を進めている。
・認知症予防など健康増進・生涯学習をサポートする生成AIを活用した対話サービスの提供を行う。
・新しい生成AIが登場した際やバージョンアップの際に適宜最適な生成AIを利用できるよう、事業者と協力して準備・検証を進めていく。

スケジュール

- 2023年　2月　：導入検討の開始
- 2023年　5月　：シフトプラス株式会社と「zevo」の共同開発を開始
- 2023年　7月　：本格運用開始
- 2023年　10月　：自治体独自AI実証開始